

目標達成計画

作成日：平成29年10月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなったり、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	運営推進会議において、ホームが抱える課題や問題点がまだ足りない点がある。 主役であるご利用者の参加に至っていない。	ホームの課題や問題点の討議となるよう構成していく。 ご家族や地域の方々だけでなく、限られた時間でもご利用者の方々にも参加して頂く。	ホームの運営報告について、現状課題や問題点等をあげて、参加者から意見があがるようにしていく。 家族へ趣旨説明をし、利用者と一緒に参加頂けるよう促していく。	2ヶ月
2	23 (9)	直ぐ実現できる「思い」を把握して実行に移している機会はあるも、時間を要するであろう「思い」への取り組みについてはまだ足りない点がある。	時間を要するであろう利用者の「思い」の実現にも取り組んでいく。	改めて利用者の「思い」を聞き取り理解に努め、家族・職員・必要な関係者と「思い」を共有し、実現できるよう話し合っていく。	6ヶ月
3	49 (18)	利用者の日常の活動について家族へ伝えきれない点がある。 近隣の外出は努めているも、普段行けないような場所において、家族や地域の人々と協力を得て出かけるための支援・機会がまだ足りない点がある。	毎月ご家族に送る「便り」について、日々の様子や外出等がより伝わるようにする。 ご家族や地域の方々との協力のもと、普段行けないような外出支援も行っていく。	家族により伝わるよう、利用者の日々の様子や外出活動等を中心に「便り」の内容を構成していく。 普段行けないような場所については、家族や地域の人々にも相談・協力を仰ぐ。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。